

令和4年度 北海道札幌月寒高等学校〔全日制〕 学校評価票（学校関係者評価）

各評価項目・領域について、教職員による自己評価及び学校関係者による評価（自己評価の適切さ）を記載したものです

領域	番号	評価の項目	R3年度		本年度（R4）自己評価		改善の方策等	学校関係者評価	
			平均		平均			適切さ	具体的ご意見
I 学習指導	1	生徒の興味を喚起し、進路に応じた教育課程を編成・実施している。	4.1		3.9		・観点別評価等、新しい学習指導要領に基づく学習評価について研修を深める。 ・一人一台端末利用による新しい授業のあり方を検討する。	5.0	
	2	基礎・基本の定着と課題解決能力の伸長を図る学習指導を行っている。	4.3	4.1	4.1	4.0			
	3	授業改善に取り組み、視野を広め、学力を向上させる学習指導を行っている。	4.0		4.1				
II 生活指導	4	自主自立の校風の中で自己管理を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせている。	4.1		3.8		・年度初めに指導内容の統一を徹底する。 ・生徒に関する情報の共有を図り、支援と指導の両面で組織的に生徒に対応するシステムを作る。	5.0	・目指す生徒像を生徒と共有しながらともに生活向上につなげたい。
	5	親和協力の精神で社会性を育み、規範意識を身に付けさせている。	4.1	4.1	3.8	3.8			
	6	部活動や生徒会行事は自主的かつ活発であり、校訓の実現に寄与している。	4.2		3.9				
III 進路指導	7	3年間を見通した系統的で継続的な進路指導を行い、進路意識を高めている。	3.9		3.9		・3年間を見通した進路活動について、生徒へのより一層の意識付けを図る。	4.8	・3年間のスケジュールだけでなく、卒業後の短期長期の見通しを想像する進路探求でありたい。
	8	一人ひとりの確かな自己実現を図るため、充実した進路情報を適時に提供している。	4.0	3.9	4.3	4.0			
	9	進路指導体制の充実に取り組み、生徒や保護者の期待に応える進路希望が実現している。	3.9		4.2				
IV 健康安全指導	10	心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行っている。	4.3		4.2		・支援委員会を中心に教育相談や特別支援について取りまとめ、分掌や学年と情報共有する。 ・防災教室の実施等を通して、生徒の安全意識の高揚を図る。	5.0	・心に課題を抱える生徒増加が予想されるので、予防的な取り組みや受け皿の増加を。そのために、教師の負担や生徒の選択が広がるように心の学びのサポーター制度の検討を。
	11	教育相談や生徒理解の取組を充実させ、いじめや不登校等の早期発見と適切な対応を行っている。	3.6	4.0	3.9	4.0			
	12	安全・防災の視点から教育環境の維持向上を図るため、施設設備の日常的な点検整備を行っている。	4.2		4.0				
V 運営	13	教育活動の改善・充実に向け、経営方針や教育目標を明示するとともに、学校評価を適切に行っている。	4.2		4.0		・校務運営会議の積極的な活用や情報共有の推進を通して、学年間連携、分掌間連携の一層の充実を図る。	4.8	・各部のトップによる運営会議ばかりではなく、課題別特別委員会などで多くの教職員の参画意識、機会を増やしてはどうか。会議が増えることでかえって負担の増加にならないように配慮しながら。
	14	分掌・学年及び職員間の連携を図り、協働して課題解決に取り組んでいる。	3.6	3.9	3.4	3.8			
	15	健全な社会人としての資質・能力の育成を目指し、ホームルーム活動の充実に取り組んでいる。	4.0		3.9				
VI 連携	16	後援会・PTA等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営につとめている。	4.2		3.9		・コロナ禍の次の段階を見据えたPTA活動のあり方や地域との連携策を模索する。	4.8	・マンドリン部の保育園訪問が良かった。 ・PTA活動だけでなく、同窓会も。
	17	地域社会へ情報を発信するとともに、保護者や地域住民の要望等の把握につとめている。	4.0	4.1	3.6	3.8			
	18	学年・学級からの情報発信などにより、担任と保護者との連携協力を図っている。	4.0		3.9				
VII 他	19	時間外勤務解消に向けた実効性のある取組を行っている。	3.0	3.0	2.7	2.7	・教育活動全体を通して業務の削減を図る。	4.2	・毎年自己評価が低いのが気になる。 ・必要のない業務は大胆に削除することは当然だが、逆に時代に即した担当業務などに大胆に改編する。